

運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

交付年度	期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金 収益	資産見返運営 費交付金	資本剰余金	小計	
平成23年度	102,804,817	-	1,024,673	-	101,780,144	102,804,817	-
平成24年度	-	7,701,187,000	4,132,916,632	58,469,734	2,883,696,610	7,075,082,976	626,104,024
合計	102,804,817	7,701,187,000	4,133,941,305	58,469,734	2,985,476,754	7,177,887,793	626,104,024

(2) 運営費交付金債務の当期振替額の明細

平成23年度

(単位:円)

区分		金額	内訳
業務達成 基準による 振替額	運営費交付金収益	-	①業務達成基準を採用した業務：美術作品等の収集業務 ②当該業務に関する損益等 ア) 損益計算書に計上した費用の額：該当なし イ) 自己収入に係る収益計上額：該当なし ウ) 固定資産の取得額：美術品・収蔵品 101,780,144 ③運営費交付金収益化額の積算根拠 業務等の達成度に応じて、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	-	
	資本剰余金	101,780,144	
	計	101,780,144	
業務達成 基準による 振替額	運営費交付金収益	1,024,673	①業務達成基準を採用した業務：美術作品等の修復業務 ②当該業務に関する損益等 ア) 損益計算書に計上した費用の額：1,024,673 イ) 自己収入に係る収益計上額：該当なし ウ) 固定資産の取得額：該当なし ③運営費交付金収益化額の積算根拠 業務等の達成度に応じて、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	-	
	資本剰余金	-	
	計	1,024,673	
会計基準第81第3項による振替額		-	— (該当なし)
合計額		102,804,817	

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	91,119,771	①業務達成基準を採用した業務：美術作品等の収集業務 ②当該業務に関する損益等 ア) 損益計算書に計上した費用の額：41,171,245 イ) 自己収入に係る収益計上額：該当なし ウ) 固定資産の取得額：美術品・収蔵品 2,883,696,610 ③運営費交付金収益化額の積算根拠 業務等の達成度に応じて、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	-	
	資本剰余金	2,883,696,610	
	計	2,974,816,381	
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	37,808,023	①業務達成基準を採用した業務：美術作品等の修復業務 ②当該業務に関する損益等 ア) 損益計算書に計上した費用の額：44,425,665 イ) 自己収入に係る収益計上額：該当なし ウ) 固定資産の取得額：工具器具備品 1,963,500 ③運営費交付金収益化額の積算根拠 業務等の達成度に応じて、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	1,963,500	
	資本剰余金	-	
	計	39,771,523	
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	586,648,031	①業務達成基準を採用した業務：展覧業務 ②当該業務に関する損益等 ア) 損益計算書に計上した費用の額：展覧業務費 1,652,779,953 イ) 自己収入に係る収益計上額：入場料収入 677,104,553 公募展事業収入 299,907,066 その他事業収入 183,362,065 財務収益 252 雑益 11,592,148 ウ) 固定資産の取得額：建物 4,075,887 構築物 6,772,500 工具器具備品 999,600 ③運営費交付金収益化額の積算根拠 業務等の達成度に応じて、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	11,847,987	
	資本剰余金	-	
	計	598,496,018	
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	79,414,210	①業務達成基準を採用した業務：教育普及業務のうち展覧会に関係する業務 ②当該業務に関する損益等 ア) 損益計算書に計上した費用の額：教育普及事業費 110,205,234 イ) 自己収入に係る収益計上額：該当なし ウ) 固定資産の取得額：該当なし ③運営費交付金収益化額の積算根拠 業務等の達成度に応じて、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	-	
	資本剰余金	-	
	計	79,414,210	
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	43,964,000	①業務達成基準を採用した業務：退職手当の支払い ②当該業務に関する損益 ア) 損益計算書に計上した費用の額：一般管理費 80,775,792 イ) 自己収入に係る収益計上額：該当なし ウ) 固定資産の取得額：該当なし ③運営費交付金収益化額の積算根拠 業務等の達成度に応じて、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	-	
	資本剰余金	-	
	計	43,964,000	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	3,293,962,597	①期間進行基準を採用した業務：上記業務達成基準を採用した業務以外の全ての業務 ②当該業務に関する損益等 ア) 損益計算書に計上した費用の額：3,552,734,181 (収集保管事業費 278,882,159 展覧事業費 293,821,720 調査研究事業費 324,014,035 教育普及事業費 1,012,274,752 一般管理費 1,643,741,515) イ) 自己収入に係る収益計上額：雑益 76,852 ウ) 固定資産の取得額：建物 4,618,993 工具器具備品 40,039,254 ③運営費交付金収益化額の積算根拠 期間が経過したので、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	44,658,247	
	建設仮勘定見返運営費交付金	-	
	資本剰余金	-	
計	3,338,620,844		
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	-	-
	資産見返運営費交付金	-	
	資本剰余金	-	
	計	-	
会計基準第81第3項による振替額		-	- (該当なし)
合計額		7,075,082,976	

(3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画	
	業務等区分	金額		
平成 24年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	展覧事業	-	○業務達成基準を採用する美術作品等の収集保管業務について、計画に基づく美術作品等の収集、修復ができなかったことから、計画予算額と支出額の差額を運営費交付金債務として翌事業年度に繰越したもの。 美術作品等の収集保管業務については、翌事業年度において計画どおりの成果を達成できる見込みであり、翌事業年度で収益化する予定である。
		収集保管事業	626,104,024	
		教育普及事業	-	
		退職手当等	-	
		小計	626,104,024	
	期間進行基準を採用した業務に係る分	-	-	期間進行基準を採用した業務は、上記業務達成基準を採用した業務以外の全ての業務である。中期計画の予定どおりに本事業年度に実施すべき業務を実施し、対応する運営費交付金を収益化したため、運営費交付金債務の翌事業年度への繰越額は無い。
	費用進行基準を採用した業務に係る分	-	-	—（費用進行基準を採用した業務は無い）
計		626,104,024		